



中央本部・角田委員長

建交労中央2022年春闘中央討論集会は、11月27日・28日(土・日)に群馬県安中市のいそべガーデンで開催しました。全体参加者は108名

建交労中央2022年春闘討論集会開催

建交労大阪府本部
機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115



大阪府本部・荻田書記長

(リモート34名含む)
相木副委員長の開会挨拶で始まり、座長には足立副委員長が選出され、1日目の議事を進行しました。

冒頭に角田委員長から主催者を代表して挨拶があり、その後角田委員長自ら22春闘の問題提起、パワーポイントを使って「野党共闘の前進で改憲は止める。」や「春闘・実利獲得、組織強化」などについて約20分間、学習しました。

その後、全労連・黒沢事務局長から全労連の「22国民春闘方針案」の提案「4つの要求の柱と4つのアプローチ」など詳しい説明で約1時間の学習会を行いました。

休憩後に特別報告として、全国トラック部会・北海道本部、全国学童保育部会、大阪府本部、軽貨物ユニオンから報告がありました。大阪府本部は特別報告で「20春闘バス労働者の休業補償を勝ち取った成果、21春闘では国民健康保険でも傷病手当が支給されるようになった要求実現、休業補償の対象外となっていたフリーランス・日々雇用労働者を対象に加えた成果を建交労から発信して要求実現した。」「22春闘で3回目のワクチン接続時の特別休暇・副反応が起きた場合の3日間の特別休暇を国が制定するよう大阪府に申し入れる予定にしている。」と報告しました。

その後、1日目の討



28日に発言
大阪トラック部会・植西部会長



27日に発言
関西支部・本多委員長



28日に発言
大阪トラック部会・長谷川幹事



11月27日・28日(土・日)
群馬県・磯部ガーデン

論で関西支部・本多委員長が発言「生コン職場での労働協約の締結・トラック労使セミナーと組織拡大」について、討論に参加しました。

2日目の討論では、大阪トラック部会・植西部会長が発言「大阪府本部とトラック部会の役員を次世代へ引き継いでいかなければならないこと。トラック職場の現状」などの報告がありました。関西合同支部・大陽液送分会・大田貨物班・長谷川氏からは「職場の争議報告と裁判闘争の傍聴支援」を訴えました。

大阪からの参加者は、合計12名、大阪トラック部会7名、関西支部2名、関西合同支部2名、大阪府本部1名が参加しました。

12・10 大阪総行動

大阪労連と大阪争議団

は、12月10日(金)「大阪からすべての争議をなくそう!」と午前8時15分から淀屋橋駅前と裁判所前で早朝宣伝、各争議職場からの訴えを皮切りに、大阪府内の企業や事業所、自治体への要請行動を終日で取り組みました。

早朝宣伝後は大阪地方裁判所前の若松浜公園でスタート集会を行い、150人が参加。建交労大阪は、関西支部3名、此花支部1名、大阪合同支部7名、大阪府本部2名が参加しました。主催者代表で大阪労連・菅議長からあいさつ「自公・維新は憲法に基づいた政治を行おうとしない。憲法が生きる職場と社会をつくろう」と訴えました。



大阪食肉市場本社前の抗議宣伝

解決せよ」と訴えました。その後、美々卯前へ移動し、「ジャーナリスト・北さんへのスラップ訴訟」の抗議宣伝・要請行動。共立メンテナンス前では「雇止めは不当!学童保育指導員を職場に戻すこと。大阪労働委員会での命令の完全な履行」を求め、要請団と社前での宣伝行動。NEC本社前では「みせしめ懲戒解雇をやめよ!」と要請と抗議宣伝を行いました。

NEC本社前宣伝後は、大阪自治労宣伝カー、建交労大阪府本部宣伝カー、建交労関西支部宣伝カー、東大阪労連から乗用車に分かれて乗車し、住之江区南港に所在地をおく、大阪食肉市場(株)に集結し、午後からの要請と抗議宣伝に取り組みました。要請団には、建交労大阪府本部・前村執行委員長が選出され、抗議宣伝には荻田書記長が訴えました。荻田書記長は、これまでの田中社長の組合敵視の数々を訴えるとともに、「労働組合法・労働基準法・労働契約法を遵守しない田中社長を断罪するとともに、パワハラ・組合敵視をやめ、組合と誠実に交渉し、円満解決するよう」訴えました。当該組合の早瀬執行委員長からは「田中社長の攻撃に我々を決して屈しない。最後までたたかう!」と力強い決意表明でした。

大阪トラック部会第24回定期総会

大阪トラック部会第24

回定期総会は、12月12日

(日)午前10時から建交

労会館において開催され

ました。開会挨拶は菅原

副部長、議長には福岡

運輸支部・十川孝文氏が

選出され、議事進行を努

めました。冒頭に大阪ト

ラック部会・植西部会長

から「トラック運輸産業

は、低賃金・長時間労働

が常態化して若者からも

敬遠される業種となつて

いる。今後の取り組みと

して魅力ある業種してい

くための方針を、この総

会の活動方針で確立して

いく。」と挨拶されました。

その後には大阪府本

部・荻田書記長の来賓挨

拶を受け、芦崎事務局長

から「2021年活動報

告・2022年活動方針

案」が提案され、続いて

「2021年度会計決算報告、2022年度予算案、次期役員」が提案され、休憩を挟んで討論に入りました。

討論では、4名からの発言があり、1人目関西合同支部・橋本執行委員長から「21春闘の妥結状況、大陽液送分会・大田貨物班の権利侵害報告、2022年の京都府知事選挙支援の訴え」発言。2人目は福岡運輸支部・十川さんから「2021



年度のトラックパレードへの初参加は会社の中でも反響があった事、近畿地方労使共同セミナーに経営側からの参加があり、経営者から『むずかしい問題の学習

争の現状報告と来年に行われる大田貨物班の裁判傍聴支援の訴えがありました。討論のまとめとして芦崎事務局長は、「年末一時金交渉、大陽液送分会の権利侵害は大阪府本部からの要請に従い、各支部の傍聴支援と大阪トラック部会としても支援していきたい。」と述べ「京都府知事選挙も近畿地協からの支援要請に応えていきたい。また、福岡運輸支部のトラックパレード、労使共同セミナーは来年も続けていく。来年度のトラックパレードは準備をしっかりとって、トラック台数も昨年を上回る台数で成功させたい。」締めくくりました。その後の議案採決は、提案された各議案を拍手で確認されました。新役員は以下のとおりです。最後に植西部会長の団結がんばろう!の三唱で閉会しました。全体の参加者は25名でした。

会やったけど、勉強になった。』という報告を交えて」発言。3人目は井住運送分会・政木から職場の現状報告。4人目は、鷹巣副部長から大阪貨物の裁判闘